

No. **02**

Example Report.

Builder:  
菱田工務店

Note:  
軽井沢町 / T邸  
家族構成 / 2人

## 軽井沢の森の生活



FOREST  
BATHING

家が木々と呼吸を合わせ  
森とのアンサンブルを  
楽しんでいるよう

軽井沢の森に立つお宅。L字型  
をしていて、その懐に庭があり、  
二辺の外側は別荘地の道路に面  
しています。平屋であること、

デザイン性の高い素朴な形状、  
木を使った外壁や木サッシ、イ  
ンナーバルコニーとそのルーバ  
ーなど、どこを見てもこの家の  
つくりは、周囲の木々の梢や葉  
のそよぎと呼吸を合わせ、あた  
かも森とのアンサンブルを楽し  
んでいるようです。

Tさん夫妻はここに愛犬と暮  
らしています。もともと首都圏  
で暮らしていた夫妻は、コロナ  
禍の2年前、ご主人の仕事がリ  
モットワークとなり、当時飼っ  
ていた犬が都会のマンションの  
暑さに耐えきれなかったことも  
あり、軽井沢の貸別荘で3カ月  
を過ごしました。当初は避暑の  
仮住まいのつもりでした。

でも軽井沢の環境を「人間の  
方が気に入って」しまったこと、  
また奥様が昔両親の別荘で過  
ごし、土地への親しみもあった  
ことから、散歩中に偶然、売り  
に出された宅地を見つけると、  
夫妻はすぐさま購入に踏み切り  
ました。移住を決めたのです。

ビルダーはネットでいくつか  
目屋をつけたうち、施工事例、  
自社大工、納期、そして自分た  
ちの要望を最も受け入れてくれ  
る会社であることを条件に、菱  
田工務店を選びました。

A

周りの風景に溶け込むように立つT邸。日の当たっている側の開口は思い切り大きくして、  
外の自然との距離を縮めている。暮らしながら朝夕に、日ごとに変わる森の表情を楽しむ。



**B**\_薪ストーブの後ろの壁をガラスにした。手前のリビングとインナーバルコニーがひと続きの空間のよう。 **C**\_天井と壁はともに漆喰塗り。同じ素材を使うことで空間に一体感をもたせている。 **D**\_キッチンとリビングの間の壁は棚として利用。お気に入りの小物が置け、なおかつ視線も通る。 **E**\_キッチンは奥様の要望で、無垢材のオーダー家具を手がける飯島町のHUMPに依頼。質感の高さがこの家に馴染む。 **F**\_薪ストーブの火は心まで温めてくれるが、メインの暖房は床下エアコンで、それだけでも十分暖かい。

自分たちの耳にだけ  
聞こえてくる音楽に  
合わせて暮らす幸せ

軽井沢の森に暮らすのだから、森との一体感を感じたい。だから建物は主張し過ぎず、でも窓は大きく。移住前に住んだマンションでリフォームを経験した夫妻は、他にも要望をこと細かに伝えました。プランを検討した日々を「菱田さんのお客さん

のなかで一番口うるさかったかな(笑)」と振り返ります。L字の東南に面した辺はダイニングとリビング、インナーバルコニー。リビングの窓の高さは天井までとり、視界いっぱい庭が見えます。続くバルコニーでは雨に濡れることなく屋外の自然を五感で感じられます。リビングとの仕切りをガラスに、その反対の壁をルーバーにしたのも二人のアイデアでした。室内空間の広がりとの外との自然とのつながりをつくり出し、一方で外からの視線を

適度に遮っています。L字のもう一辺にはバスルーム、書斎、寝室など、よりプライベートな空間を振り分けました。夜の雰囲気も素敵です。照明の数が明るさを極力抑えたため、日が落ちて灯りが点ると、家はいいよ。いよ森に溶け込んでいきます。食事をしながら、バルコニーでくつろぎながら、バルコニーと刻むリズムが耳に入ってきました。そして、自分たちだけの耳に入ってくる音楽に合わせて暮らすことの幸せを思います。





**K** 愛犬も軽井沢の森での生活が、自分にとって当たり前のリズムになったよう。 **L** インナーバルコニーに置いたチェアは特等席。この家に訪れたゲストはあまりの心地よさにお昼寝をせざるにられないとか。



PLAN

DATA

敷地面積 757.01㎡ (228.54坪)  
 延床面積 120.48㎡ (36.37坪)  
 1F面積 105.58㎡ (31.87坪)  
 デッキ面積 23.60㎡ (7.12坪)

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱:スギ4寸角、梁:米マツ、土台:ヒノキ4寸角 断熱材/天井:ポリスチレンフォーム75mm+グラスウール100mm×2重、壁:ポリスチレンフォーム40mm+グラスウール100mm、基礎立ち上がり:ポリスチレンフォーム100mm、底盤:ポリスチレンフォーム40mm 主な外装仕上げ/屋根:ガルバリウム鋼板立ハゼ葺き、外壁:スギ板張り(ウッドロング塗) 主な内装仕上げ/天井:クロス・漆喰、壁:クロス・漆喰・タイル、床:オーク無垢・タイル 開口部/複合樹脂サッシ・Low-Eペアガラス(アルゴンガス入り) キッチン/HUMP(造作) キッチン熱源/IHクッキングヒーター バスルーム/TOTO サザナ 暖房の種類/パッシブ暖房・薪ストーブ



**G** 写真左手の東南に面した天井まである大窓は、冬の日の家を奥へと導き入れる。ダイニングの低めの天井が落ち着きを演出する。 **H** リビングとダイニングで、天井の高さと形状を変えた。その変化が生活シーンごとのリズムをつくりだす。 **I** ご主人の書斎。仕事に集中できるようこの窓は小さく、でも、目の前の林をリスが走るのが見える。 **J** 玄関からの眺め。廊下の位置をずらすことで、寝室が直接視界に入らないよう工夫している。正面に窓を設けたことで採光にも役立っている。



Owner:  
Tさんご家族



Builder:  
営業設計チーフ/木下広香さん

Q1. 家づくりで一番大切にしたいことは?

**A** 平屋で窓が大きくて、四季を通じて屋外との一体感を感じられる住まい。広がりのある室内空間。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは?

**A** インナーバルコニーとそのルーバー、明るさを抑えた照明計画、リビングとダイニングの天井の変化など。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは?

**A** 細かな要望にも耳を傾けて、私たちの理想をこの家に詰め込んでくれました。

Q1. この家のコンセプト、ポイントは?

**A** 周囲の美しい自然を楽しめる内外の一体感のある家づくり。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

**A** 室内と屋外のつながりと開放感を生み出す開口部、環境に溶け込む外観。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは?

**A** お施主様の真意をくみ取り、期待を超えるご提案ができるように心がけています。

